広報
さめがわ
昭和５５年
12月 号
No. 324
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

冷害の反省を基盤に
足腰の強い農業を再建しよう



今年の文化祭では冷害の反省と対策の検討を目ざした冷害克服農業振興シンポジウムが計画されました。

初めての催しでしたが熱心な参加者200余名の出席があり、藤田農協組合長の開会の挨拶に次いで葉煙草優良耕作者の表彰と、先に福島県一の集団営農表彰に輝いた青生野協業和牛組合の事績の披露が行われました。

続いて基調講演に入り、石田村長は昭和55年冷害は幼穂形成期と出穂開花期の気温が20℃以下に低下した異常低温が元凶であると、稲の生長生理の現象から結論づけ、その対策について説明しました。

次に本郷公市君、沢口和久君の貴重な体験発表があり、須藤農業委員会長の司会で質疑討論に入り、数名の方から活発な意見が陳べられました。

最後に県農業試験場長岡崎暁先生の有益な記念講演があって、盛況裡に閉会となりました。

- ⊙ 1日～31日　歳末たすけあい運動
- ⊙ 12月15日～1月14日　年末年始交通事故防止県民運動
- ⊙ 12月15日～1月14日　年末年始防犯運動

今月の人口
（12月1日現在）

人口	5,650	(−17)
男	2,813	(− 7)
女	2,837	(−10)
世帯	1,150	(0)

年末年始防犯運動
12月15日～1月14日

年末は、なにかとお金が動き、正月の準備などであわただしく家をあけることも多いため、空き巣ねらいやひったくりが多くなります。

防犯に心がけ、明るい正月を迎えましょう。

一、家を留守にするときは必ずカギをかけましょう。

二、まとまった現金を家に置かないようにしましょう。

三、必要以上のお金を持ち歩かないようにしましょう。

しめたはず
しまったはずでも
もう一度

年末年始特別警戒

各地で大きな火災や焼死者が多く発生しています。

消防署では年末年始特別警戒を実施しております。年末年始は何かと忙がしく、ともすれば火の元を忘れがちになります。村民一人一人が火災予防に努め、明るい良い年を迎えましょう。

○ 石油ストーブやコンロをコタツがわりに使わないこと
○ ストーブに給油するときは必ず火を消すこと
○ 子供に火あそびをさせないこと
○ たき火をする時は消防署に必ず届けること
◎ 一一九番電話のかけ方
○ 確実に一一九番、地集〇〇一一九
○ おちついて場所をはっきりと

あなたです！
火事を出すのも
防ぐのも

（棚倉消防署鮫川分署）

行政相談会

12月20日　午前10時～正午
山村開発センター

道路、河川、年金、生活保護、交通安全、公害、登記などについての苦情や要望、意見などがあればお軽においで下さい。

●相談員　緑川　操

おめでた

一〇月
戸草　芳賀　利幸　父芳賀春男

一一月
青生野　本多　友子　父本多照男
名下　須藤　嘉範　父須藤　好
虹ケ沢　石井亜矢子　父石井正一
西野内　石井　貴大　父石井久夫
二本田　酒井　幸一　父酒井國安
青生野　生田目良子　父生田目忠一
田苗下　芳賀　祐季　父芳賀　登

おくやみ

一一月　年齢　世帯主
反田　坂本　長治80歳坂本行正
官代　蛭田　トメ77歳蛭田昭男

お知らせ版 (20)

期待することの多かった一九八〇年、昭和五五年は、冷害対応のあわただしい幻忙のうちに暮れてゆくことになりました。

わが村にとってこの年は、新農業構造改善事業の実施第一年度に当り、また第二次過疎地域振興計画の策定年次であり、全国でも数少い林業地域総合整備計画樹立の年でもありました。

新農構に盛られたこの年の事業には大字行政区が事業主体となる集落センターが計画されており、西山区、赤坂中野区、富田区の三区が敷地の取得、造成、建築物の設計委託、入札、工事の施行と事業は順調に進められ、渡瀬区も運動広場の建設を計画し、中山地内に用地を得て順調な工事の進行をみております。

村の大字行政区は地方自治法上の法人格がないため、法令上の拘束がないかわりに、また困難な事情もあり、区当事者の苦労も多いわけです。

今年の新農構は県内指定町村の中でも予算の消化ができなかったところがあったものか、わが村がその超過分を引受けることになり、それが農事組合単位の小集落センターに配当され、西部、塩倉、馬場、大塩の四組合が実施することになりました。

繰上げ実施ということで種々困難はありましたが、この方も概ねスムーズな滑り出しであります。

この小集落集会施設は、今後全村に普及すべきものと考えられ、本年度計画の施設は先進的モデルケースとして役立つものと思います。

土地基盤整備事業では集落をあげての圃場整備や暗渠排水事業が実施段階に入り、土地改良区が事業主体となり、塚本地区、岩野草地区で工事が進められました。

昭和五五年最大の関心事は何といっても大冷害の襲来であります。

七月稲の幼穂形成期、八月出穂開花期の気温は、明治三八年以来七五年ぶりの異常低温で経過しました。現在の農業技術水準では効果的な対応もできないまま過ぎたことが残念至極であります。

資金、飯米、就労、賃金、再生産対策などの事務処理などに役場も忙殺されました。

テレビや新聞で阿武隈山系町村の惨状を見た喜多方市慶徳農協の農家の皆さんが、心からなる救援米九〇〇kgを特に鮫川村の農家に贈られたことは、冷害の秋に咲いた人情の華、隣人愛と善意の贈りもので深く感謝にたえません。

この美挙を立案実施された慶徳農協の大川原組合長さん、仲介された鮫川農協の藤田組合長さんにも厚くお礼を申し上げます。

救援米は農協婦人部役員その他の奉仕で五kg袋につめかえ、被災●皆様に差上げました。

暮れゆく昭和五五年をかえりみる

村長　石田卯子八

心暖まる善意の救援米

――慶徳農協から





鮫川村が近年にない冷害により、農家では自家用飯米にも困るという状況をテレビや新聞で知った喜多方市慶徳農協の大川原二三夫組合長が、同地出身の石田村長の村に、救援米を贈ろうと、400戸の組合員に呼びかけたところ、心ある組合員の協力で、精米で900キロも集まりました。

それで、大川原組合長は販売課長、係長とともにこの救援米をトラックに積んで去る11月26日鮫川村役場に搬入されました。

この米は30キロ入り30袋もあり、役場前で感激の贈呈式がありました。

この心暖まる贈りものに在庁職員と農協役職員が一同感謝の拍手でこれを受領しました。

村では被害農家で飯米の配給を受ける農家に少量づつではありますが、隣人愛と善意に満ちたこの贈りものを分けて差上げることにしました。

新しい民生委員決まる

任期満了による民生委員の委嘱替えが行われ、新しい委員に一二月一日付で厚生大臣の委嘱状が伝達されました。

本村の民生委員定数は一六名で内六名が再任、一〇名が新任されました。

担当地区	氏名	新再別
赤坂西野	高坂エイ	再
〃	斉藤正光	再
西山	根本伝	新
〃	関根仁	新
赤坂中野	鈴木森正	再
〃	矢吹孝之助	新
〃	縁川フク	新
赤坂東野	中川西金之助	再
石井草	鈴木喜一	新
〃	鈴木みね子	新
富田	坂本義利	新
〃	鷲野谷満	新
渡瀬	蛭田覚	再
〃	小松保	新
青生野	新妻貞夫	新
〃	矢吹由栄	再

なお、第一回民生委員協議会で総務に中川西金之助氏が再選され、副総務に蛭田覚氏が選任されました。

文化祭バザー収益金など社会福祉事業費に寄附

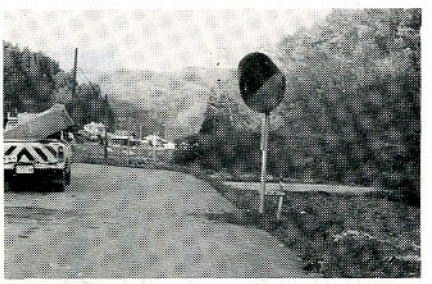
～村婦人会・青年会～

今年の文化祭で、村の婦人会はバザーを開きましたが、その収益金七万三、九六五円全額を村の社会福祉事業に役立てて下さいと、有賀華子会長さんから村社会福祉協議会へ寄附されました。

このバザーによる収益金の寄附は、今年で二年目で、会員が衣料、せと物、漆器、野菜、穀物等三三一点を持ちよったものを格安に販売して得たものです。

村社会福祉協議会ではこの貴重なお金を、ねたきり老人等恵まれない方々への福祉事業に役立てるため計画中です。

また、青年会長円井七蔵さんからも青年会模擬店の収益二、九四六円の寄附があり、これも福祉事業に役立てることにしました。



農協の寄附で設置されたカーブミラー（渡瀬字関口地内）

鮫川村農協から カーブミラー寄附

このたび、鮫川村農業協同組合からカーブミラー二基の寄附があったので、村道の危険個所二カ所（大字西山字追木地内、大字渡瀬字関口地内）に設置しました。

これは、農協が行っている共済掛金の還付金で購入され、村に寄附されたものです。

自衛官募集

お問い合わせは村役場総務課へ

あなたです！　火事を出すのも防ぐのも

保育所・児童館 入所申し込みのお知らせ

昭和五六年の四月から保育所、児童館に入所を希望する幼児の受付をしています。入所希望の方は、次により申し込んで下さい。

申請用紙は、役場住民課（窓口）、西山児童館にあります。

一、受付期間　昭和五五年一二月一日から一二月二〇日まで

二、受付場所　役場住民課、西山児童館

三、入所定員　鮫川保育所　九〇名、渡瀬保育所　六〇名、西山児童館　四〇名

四、入所対象幼児

鮫川保育所、渡瀬保育所　満二歳から、満四歳までの幼児、（昭和五一年四月二日から昭和五四年四月一日までに生れた者）

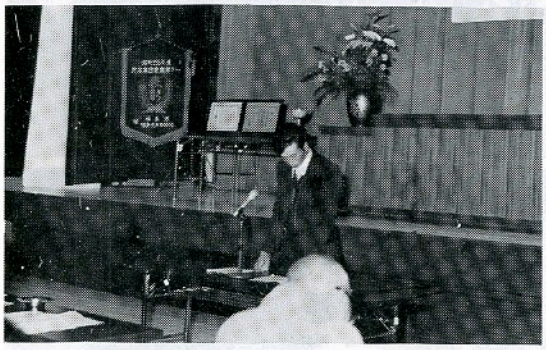
西山児童館　満三歳から、満四歳までの幼児、（昭和五一年四月二日から昭和五三年四月一日までに生れた者）

五、申請に必要なもの　印かんと家族の氏名、生年月日がわかる保険証等お持ち下さい。

六、その他　㈠　昭和五六年度より五歳児は幼稚園に入園していただく予定です。㈡　入所希望者が定員を超える場合は、入所基準によって最も保育の必要がある者を選定することになります。㈢　入所決定通知は三月中旬までに各保護者に送付します。

※　入所の手続きについてわかりにくい点がありましたら住民課戸籍住民係におたずね下さい。





冷害克服農業振興シンポジウムで堂々体験発表をする２人の青年農業者。上は稲作も葉煙草も新しい農業技術で冷害を克服しようと、意欲に燃える本郷公市君（西山）、下は繁殖和牛30頭飼育を目標に、今年は既に14頭の仔牛を市場に出した沢口和久君（青生野）これからの山系農業に夢をもたせる頼もしい２人の姿です。

お知らせ

鮫川幼稚園 入園申し込みはお早めに

鮫川幼稚園では、昭和五六年四月から入園を希望する児童の受付を行っています。入園を希望される方は次により申し込んで下さい。

入園志願書は学校教育課（公民館内）に備えてあります。

一、受付期間　昭和五五年一二月一日から一二月二七日まで

二、受付場所　村教育委員会学校教育課

三、入園定員　八〇名

四、入園資格　五歳児（昭和五〇年四月二日から昭和五一年四月一日までに生れた者

五、申請に必要なもの　入園志願書、児童の住民票抄本

※　申請について詳しいことを知りたい方は村教育委員会学校教育課（電話三一五一）におたずね下さい。

休日の在宅当番医

（12月～１月）

月日（曜）	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
12月７日（日）	棚倉町 診療所	厚生病院	
14日（日）	和田		慈泉堂
21日（日）	阿部	石川	
28日（日）	藤田		木村
29日（月）		中島	
30日（火）		車田	
31日（水）		根本	
１月１日（木）	勝田	厚生病院	
２日（金）	菅原		慈泉堂
３日（土）	阿部	石川	
４日（日）	大木		木村
11日（日）	藤巻	中島	
15日（木）	棚倉町 診療所	車田	
18日（日）	和田	根本	
25日（日）	阿部	厚生病院	

募集

文化祭についてのご意見をお寄せ下さい

第三三回鮫川村文化祭は、一一月二一日から二三日まで三日間山村開発センターを中心会場に行われましたが、文化祭についてのご意見、ご要望、気づいた点などがありましたら一二月二七日までに村役場総務課までお寄せ下さい。

毎月一日は「省エネルギーの日」です

年末年始交通事故防止県民運動　12月15日～１月14日

第33回鮫川村文化祭





いつも人気の高いのが素人のど自慢大会。今年も開発センター大集会室が満員の盛況でした。





わが村独自の催しであるお母さんお嫁さんに感謝する会は、文化祭の最終日11月23日に山村開発センターで開かれ、600名からの参会者でにぎやかでした。席上20名の健康赤ちゃんと若いお母さんが表彰され、歌謡曲やおいらん道中の踊りなどで楽しい一日をすごしました。



左は村内の幼稚園、小中学校児童生徒の学習発表会で、文化祭の初日山村開発センターで盛大に行われました。右は鮫川高校生の学校祭の行事で、市内をねり歩いたにぎやかな仮装行列です。



成人式に参加する方へ

12月27日までに申し込みを！

来年一月一五日（成人の日）に成人式を挙行します。

成人式に参加を希望する方は次により申し込んで下さい。

◎ 参加資格
昭和三五年四月二日から昭和三六年四月一日までに生まれた方

◎ 申し込み事項
成人者の氏名、生年月日、住所、続柄、父（母）の氏名、住所、電話番号

◎ 申し込み期間
昭和五五年一一月二八日から一二月二七日まで

◎ 申し込み先
山村開発センターへ、文書または電話（二二四七）で申し込んで下さい。

成人者の感想文募集

来春成人される皆さんの感想文を募集しています。

四〇〇字詰原稿用紙（二枚程度）に、成人された感想をお書きになり、昭和五六年一月七日（水）までに、鮫川村山村開発センター（大字赤坂中野字巡ケ作一二八）へお寄せ下さい。

村内の交通事故（11月30日現在）　発生10件　死亡０人　負傷者13人

年末年始交通事故防止県民運動
12月15日～1月14日

安全はゆずる飲まない急がない



年末年始は何かと酒を飲む機会が多く酒酔い運転や酒気帯び運転による交通事故が増加します。

「あまり酔っていないと思ったので」
「少ししか飲んでいないから」
「家まで近いから」
「ひと休みして酔いがさめたと思ったから」

―これが、酒酔い及び酒気帯び運転者の〝自己弁護〟の主なものとされていますが、自分勝手な甘い判断は大変危険です。

酒を飲んで運転すると注意力が散漫になり、腕と脚部の運動機能が低下し、乱暴できわめて危険な運転になります。

次のことを守って安全運転につとめましょう。

一、酒を飲んだら車を運転しない。
二、車を運転する時は酒を飲まない。
三、車を運転する人に酒をすすめない。
四、酒を飲んだ人に運転させない。

お知らせ

来年の4月末から 電話のかけ方が変わります

市内局番がつきます

村の地集電話が毎年一般電話に切り換えられてきましたが来年四月末で残りの区域（富田、渡瀬、青生野全域、赤坂東野の一部）の電話が一般化されます。

これに伴い、村の電話交換局が二つ（前沼、世々麦）に分かれ、市内局番等が次のように変わります。

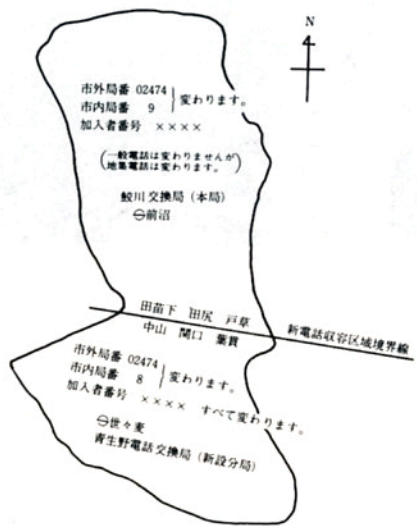
鮫川電話交換局（本局・前沼）
市外局番　〇二四七四
市内局番　九　局
加入者番号　××××（一般電話は今までどおり）地集電話であったところは変わります。

収容地区　赤坂西野、西山、赤坂中野、富田全域、赤坂東野、石井草（葉貫、伊柳沢を除く）、渡瀬の福原、田尻地区

青生野交換局（新設分局、世々麦）
市外局番　〇二四七四
市内局番　八　局
加入者番号　××××（全部変わります）

新しい電話番号については、決まり次第各家庭にお知らせいたします。詳しいことを知りたい方は古殿電報電話局におたずね下さい。
（古殿電報電話局）

鮫川村電話収容略図



※　青生野電話交換局ができると、すべての電話に市内局番がつきます。
（たとえば、村役場に電話をかけるときは(9)3111とダイヤルを回すようになります。）
また鮫川村全域が普通加入区域となり電話新設時及び毎月の特別割増負担金が不要となります。

年末のし尿汲み取りは 早めに申し込みを

年末のし尿汲み取りは各家庭からの申し込みが多く、すぐ汲み取りができない場合があります。汲み取りを希望する方は早めに村役場住民課保健係に申し込んで下さい。

12月～1月のゴミ収集日

収集コース	種別	12月	1月
江竜田～中野町～彦次郎 広畑～新宿（新宿橋まで）	可燃物	毎週月・木曜日	毎週月・木曜日 5日を除く
	不燃物	（隔週月曜日） 1日・15日	（隔週月曜日） 12日・26日
新宿（新宿橋から）～道少田 ～大塩コース	可燃物	毎週火・木曜日	毎週火・木曜日
	不燃物	（隔週月曜日） 1日・15日	（隔週月曜日） 12日・26日
真坂～茅～酒垂～宝木 ～水口～官沢コース	不燃物	（隔週水曜日） 10日・24日	（隔週水曜日） 7日・21日
越虫～青生野～戸草～蕨ノ草 ～官代～遠ケ竜コース	不燃物	（隔週火曜日） 9日・23日	（隔週火曜日） 6日・20日
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田 ～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	毎月第1金曜日 5日	毎月第1金曜日 休み

※　収集日が休日の場合は、ゴミ収集は行われませんので、次回の収集日に出して下さい。